

令和3年度予算編成について

1 現況等の認識

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、世界経済は未曾有の危機に瀕している状況といわれています。

ワクチン等の開発が急ピッチで進んでいますが、安全性の確認や世界各国へ行き渡るには相当の時間が必要とされており、来年度も新型コロナウイルスと共存する生活様式が必要とされ、経済のV字回復は望めないものと予想されます。また、アメリカと中国の政治・経済面における対立が先鋭化することで突発的な経済危機に陥ることもあり得ることから、予断を許さない状況です。

国内経済に目を向けると、令和2年度のGDPがマイナス成長と見込まれているにもかかわらず、日本銀行による異例の介入により結果的に株式市場の安定をもたらしています。この現象は、実体経済を反映していないバブルとも言われており、このまま長く続くとは思えません。

一方で、平成24年12月から続いた日本の景気拡大期間が平成30年10月に終わり、景気後退局面に入ったと認定されたとおり、国内経済は実質的には非常に厳しい局面に置かれているものと認識しています。

町の状況については、歳入面で、新型コロナウイルス感染症の影響が町民税の減少基調に拍車をかけることが予想されます。普通交付税により一定程度は税収減が補てんされますが、国の財源不足から単純に普通交付税の増額とはならず臨時財政対策債への振替割合が大幅に引き上げられる可能性があり、町はこれまでと違った対応を迫られることとなりそうです。

また、過去の経済危機を踏まえると、何らかの国の経済対策予算が計上される可能性もあることから、細心の注意のもと情報収集にあたり、町が利活用できる財源は積極的に確保する姿勢が求められています。

歳出面では、経常収支比率が高止まりした状態からは脱却できず、財政の硬直化が改善する見込みを立てられるような状況にはありません。

よって、新たに事業・施策を追加するときは、反面でその予算以上に削減する事業が付帯しなければ、無謀な事業計画となり、予算化は極めて難しくなっています。

また、長年にわたり継続してきた事業などについて、その内容の見直しが社会の変化と比べて遅れをとり、現下のニーズや財政力から乖離したものとなっていないか、あらためて検証することが求められています。

人口減少が顕著となり、減縮する財政規模との整合を図るため、将来を見据えた改革・改善を断行し、真に必要な歳出予算を確立する必要がある状況と認識しています。

以上のような見通しを踏まえ、令和3年度予算の編成は、これまでと次元の違う厳しいものとなる可能性があることを見据えたうえ、他方で「働き方改革」も進めなければならぬことから、高いレベルのバランス感覚を備え、最適化された予算体系を構築しなければなりません。

2 予算編成方針

令和3年度予算を編成するにあたり、次の方針を基軸に据えるので、別に定める重点施策への対応とあわせて十分に留意されたい。

- ① 第5次二宮町総合計画後期基本計画を踏まえた予算編成とすること。
また、これまでの行政評価の結果や二宮町総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）、第5次二宮町行政改革大綱を踏まえるとともに、公共施設に関する予算は、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づいたものとする。
- ② 予算編成の透明性向上のため、例年のとおり予算編成過程を公表する。また、予算見積りは、システムの機能に則した正確な入力をし、積算根拠や財源などをつぶさに確認することのほか、将来のコストを見通した町民に説明責任を果たせるものとする。
- ③ 全事業について、スクラップ・アンド・ビルドの概念のもとに見直すことを前提として予算編成に臨むこと。また、新型コロナウイルス感染症による影響を念頭に置き、新しい生活様式を踏まえた予算とするほか、国等の新型コロナウイルス感染症対策予算の動向についても確実に捕捉し、遺漏なく対応すること。
- ④ 予算査定は、引き続き「一件査定方式」により実施する。ただし、経常的経費の増加は、原則として認められないことから、無用な議論を招くことが無いよう各部・課等において十分に精査したうえで予算要求をすること。

3 むすび

令和3年度予算は、予算編成の初期段階で例年以上に財源不足の深刻さが増すものと見込んでいます。

このため能動的に財源を確保するよう努め、あわせて事業の有用性等を説明できなければ、いかなる事業も具体的に予算化されることはありません。また、限られた財源をより効果的、効率的に分配するためには、各課等が事前調整のうえ互いに連携・協調することが必要です。

引き続き、公共施設の再配置、役場庁舎の整備、公共施設の長寿命化、働き方改革などの課題のほか、特に新型コロナウイルス感染症対策に注力する必要がある中で、さまざまな予算をどのように組み立てていくのか、町の判断力が問われるところです。

他方で、令和2年度予算で発生した予算の算定誤りを繰り返すことはできません。よって、予算要求した内容については責任を持って最後まで確認等入念に取り組むよう強く要請します。

最後に、職員各位においては、本文書の内容に留意していただくとともに、今だけではなく未来に対しても責任ある予算を編成することを期待し、むすびとします。